

LEE' S Letter リーズレター P.A.2nd

No.9 (通No.88)

2016/2/4

『50年かかるでしょう…』

昨年9月、調査で出かけた韓国。日本語が堪能で経営支援機関出身の経営者へのヒヤリング。経済発展を優先して置き去りにしてきたそのツケを象徴するセウォル号の事故。ツケを返して自他ともに誇れる状態になるまで、『50年かかるでしょう…』。

1987年の民主化から30年。50年は大げさでも、20年かかるのではないか。韓国事情に詳しい友人もまた、『そう思う』。

京都太秦の広隆寺。1月初旬、仕事で近くへ行った帰り、このまま素通りするのはもったいないと途中下車。

たぶん15年ぶり。平日のせいか拝観者は他に学生らしき男性2名。霊宝殿にヒールの音が耳にさわる、静寂。

かの弥勒菩薩像、坐像。右から、左から。しばらくして、少し後ろに下がり、三体一同を右斜めから、拝む。

新年のインスピレーションは降りてこなかったけど、15年前の記憶がここに刻まれている感覚もまた、ご利益。

LEE' S リーズ
http://www.leslee.com
〒530-0012
大阪市北区芝田2丁目8-15
北梅田ビル35号
リー・ヤマネ・清実

おんたちの春爛漫、後半生に来たる

『男性の生産性は20代で急上昇し、30代でピークに達し、40代に入ると急降下する。女性は、年を重ねながら徐々に上がり、ピークは45歳から65歳』。10年前日経夕刊に掲載されたコラムです。

一方で、老いても一人で自立した生活を維持できているのは男性の方が多いという調査もあります。日野原先生が象徴的存在ですが、篠田桃紅さんの例からも、男女ともにわが道の探究が鍵のよう。

人生後半に生産性のピークが訪れるそうですよと女性たちに話すと一様に満面の笑み。若い女性たちには、『だから今から色々なことを着々と学んでいきましょう、将来の飛躍のために！』。

子育て中で自分の世界が閉ざされた感のママたちには、『いまの経験から得る知識や視点の変化は糧になる。子育て中の生活リズムの中でも少しずつ将来のための学びをしていきましょう！』。



子育てを終えて再び自分の世界を拓こうとしつつ、厳しい現実と直面しているアラフォーたちには、『自分で業を起すことも一つの選択肢、いずれにせよ、新しい学びに投資しましょう！』。

それなりの年齢になり、ライフワークを探求している大人女子たちには、『なるべく“お一人様”で行動を。見て聞いて、感じ考えたことを、自分の知で吟味し、仕事に昇華させましょう！』。

立春、人生春爛漫の始まりを！

仕事と「文化」

1月23日日経夕刊に『人工知能やIoT－雇用の増減資産－経産省今春にも職種ごとに』。昨年12月野村総研発表の『日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に』に続く人工知能と仕事の話。

一昨年「ワトソン」の記事を見た時から興味深く追ってきた人工知能、その父と言われるマーヴィン・ミンスキーが先日他界したというのも、人工知能が黎明期を過ぎ、広く世に浸透していく節目を感じます。

創造性、協調性、非定型性。人工知能に代替困難な業務の3要素を野村総研のレポートが強調していました。人工知能に限らず、それらは他の人間にもそう簡単に代わり得ない要素。仕事の差はそこにあり。

文化。人間が長い歴史の中で形成してきた物心両面の成果。先の3要素を育むのはこの「文化」ではないでしょうか。哲学などの観念的な領域からモノのアートまで。人間の知への敬意と学びが欠かせません。